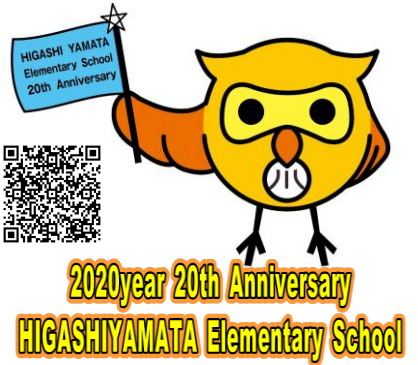


東山田 東小だより

横浜市立東山田小学校 学校だより 1月号 令和3年1月6日発行

NO RAIN NO RAINBOW



校長 宇都宮 桂

新年あけましておめでとうございます。本年が子ども達、保護者・地域の皆様にとって、よい年になることを切に願います。この年末・年始は、感染症対策のため、STAY HOMEのご家庭が多かったかと思えます。新しい年を迎え、子ども達の中には、祖父母等に会えないけれど、会いたい気持ちを伝えたい、今年もコロナに負けない年にしたいから、マスク、手洗いをがんばりたい、私のために頑張っている両親に感謝を表したい、と、いろいろな思いがあったと思います。平穏無事な日々が来ることが待ち遠しいです。

さて、12月24日「創立20周年記念お祝いの会」が無事に開催されました。感染症対策では、参観いただいた来賓・保護者・地域の皆様にもご協力いただき、誠に感謝いたします。横浜国際プールで密を避けて、子ども達中心のお祝いの会で盛り上がり、学校に戻り、東山田の野菜を使った記念給食を食べ、福来くん等のデザインの入ったクッキーや航空写真のクリアファイルを持ち帰り、とても楽しい一日だったので、スマイルひがしっ子の姿がたくさん見られました。保護者や地域のみなさまの愛情がなければ実施できなかったので、感謝、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

その会の中で、「NO RAIN NO RAINBOW」という話をさせていただきました。これは「雨が降らなければ、虹はできない」という意味です。そして、虹ができるとき、その前には雨が降っている。つまり、雨のお陰で、きれいな虹を眺めることができるという話です。

今は、感染症対策として、行きたいところに行けない やりたいことができない、そんなときです。でも、いつか行けるとき、いつかきっとできるときがやってきます。止まない雨はありません。いつかその日がやってくるのを楽しみにしようと伝えました。

そして、雨が降っているときは、外に出るより、家にいることの方が多と思います。「STAY HOME」です。その家にいるときに、ただ待っているだけでなく、今、できることを見つけて、小さな努力を積み上げていくことが大切です。自分のできる範囲、少しでも構いません。その小さな努力を積み重ねることで「やればできる」「こんなことができるようになった」と「できる自分」を発見することができます。「できる自分」＝「自信がつく」ことです。自信がつけば、いろいろなことにチャレンジし、スマイルが増えると考えます。

「NO RAIN NO RAINBOW」＝「雨が降らなければ、虹はできない」。辛いことや悲しいことがあっても、そのあとに、きっとよいことが起きる、幸せがやってくる。子ども達が、小さな努力を積み重ねることで自信がつき、チャレンジできる、スマイルがあふれる自分になることと同じだと考えます。一人でも多くの子どもの心に虹を架けられるように、指導・支援を進めていきます。



今月から登校時間や方法が変更になりました。また、13日・14日は授業参観です。密を避けた形での実施となります。校舎内はマスク着用、私語はお控えください。ご理解・ご協力をお願いいたします。卒業式までは50日間、修了式までは55日間です。これからも子ども達の健康を見守りながら、教育活動を進めて参ります。保護者・地域の皆様のご理解・ご協力・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします